東日本大震災風化防止プロジェクト

ありがとう りくぜんたかた

皆さまからの温かいご支援、本当にありがとうございます。
東日本大震災で、岩手県陸前高田市は壊滅的な被害を受け、とても悲しい思いをしました。
復興まで長い道のりですが、一歩一歩「ありがとうをチカラに」歩んでおります。

まつぼっくりちゃん
ありがとう りくぜんたかた応援キャラクター
登録商標第5513126号

「まつぼっくりちゃん」が出来るまで

陸前高田市の松ぼっくりから希望の芽がでました。
震災前に拾われた松ぼっくりの種が「森林総合研究所」で芽をだし、
高田松原の再生に向け、いずれは植樹されるようです。

「松ぼっくりから希望の芽」と
「陸前高田市の希望の芽」である未来を担う子供たち

２つのイメージが重なり、このキャラクター
「まつぼっくりちゃん」が誕生しました。

お問い合わせは公式HP
http://matsu-bokkuri-chan.com

ありがとう りくぜんたかた ©

３．１１は一生忘れられないです。

陸前高田市に居た家族が被災しました。

あの日の大地震直後、「大津波警報が出た」とのメールを境に家族と連絡が取れなくなりました。
覚悟しながらも、安否情報を探し続ける日々。そんな中、陸前高田を取材していたある報道記者のご厚意で
家族からメッセージが届き、家族の無事を確認しました。

実際に会えたのは３週間くらい後でした。

私の家族は幸いにも無事でしたが、親戚も多く亡くなりました。私以上にツライ思い、
経験をした人たちのことを考えるといつも胸が痛みます。

平穏無事な日が突然消えてしまう。なんの予告もなく、消えてなくなる。こんなことが現実に起きてしまったのです。

５か月を過ぎたある日、家族がこんなことを言い出しました。要約すると、
「日本はもとより、世界中からたくさんの支援が毎日ある。避難所に居た時も本当にいろんな方々が助けてくれた。
亡くなってしまった方々を思うと悲しくなるが、今までお世話になったことを思うと感謝の気持ちでいっぱいになる。
支援してくれた多くの方々にも感謝の気持ちを伝えたい。それに偶然にも生き残ったのだから、
残された者として何かできないか。」

そこで、被災した家族と一緒に今どんな支援ができるか考えました。
まずは、家族が震災前からお世話になっていた、陸前高田市の子育て支援施設「きらりんきっず」へ支援することを考えました。
パンフレットの作成や子供たちへのＴシャツプレゼントから始まりました。その後、グッズ制作と販売をし、制作費等を除く全額
をきらりんきっずを運営している「気仙子育て支援ネットワークＷａ－Ｉ」へ寄付しました。
（※震災一年を機に、グッズの収益はプロジェクトの運営費及び陸前高田の子供たちの為に活動する方々等に寄付・寄贈と変更いたしました。）

陸前高田市の知人や友人たちなど、たくさん方々から多くのご要望を伺い、それに応える為、
「ありがとう りくぜんたかた」プロジェクトを発足し、活動の場を少しずつ広げています。

私にできることを今後も考えながら続けて行こうと思っています。

平成２４年3月１１日

大内 裕史

～陸前高田での主な活動実績～

24年11月現在（一部準備中を含む）

2011

おやこの広場　きらりんきっず

被災し、仮設で再開した子育て支援施設。

ロゴデザインの作成や名刺、パンフレット制作、木製看板の寄贈、ホームページの制作・運営、グッズ売上金の寄付、グッズの寄贈。

期間：2011年8月～2012年6月まで

たがだのわらしＢａ

陸前高田の地域子育て創生事業実行委員会が主催の子供たちの為のイベント。

ホームページの制作、イベントでは高田の伊東文具店さまと共同でグッズを販売しました。

期間：2011年10月～11月

2012

あゆっこ

被災し、仮設で再開した陸前高田市地域子育て支援センター。

パンフレットを制作しました。
（※ロゴは100%ORANGEさま）

期間：2012年2月～(継続中)

りくカフェ

被災後、建てられたコミュニティカフェ。

ロゴデザインの作成や名刺、ラベルデザイン、コーヒーラベルデザイン。
ラベル1050枚寄贈。

期間：2012年2月～(継続中)

まちのリビング

被災後「まちにリビングのようなコミュニティ空間をつくろう」と始まったプロジェクト。ロゴデザインを行いました。

期間：2012年3月～(継続中)

吉田歯科医院

被災し、再開した歯科医院さまのロゴ、名刺、診察券をデザインしました。

期間：2012年4月

ジャズタイム　ジョニー

被災し、仮設店舗で再開したジャズ喫茶。

オリジナルコースターのデザイン、名刺のデザイン。名刺100枚寄贈。

期間：2012年6月～(継続中)

被災した農場

陸前高田で初めて「山くらげ」を育てるプロジェクトをプロデュース。企画からパッケージ、ラベルデザイン等を行い、商品化し販売。収益は全額、被災農家 と福祉作業所へ。

期間：2012年5月～9月

鵜浦医院

被災し、再開した「鵜浦医院」さまのロゴ、名刺、診察券をデザインしました。

期間：2012年6月

小谷園茶舗

被災し、仮設店舗で再開したお茶屋さま。まつぼっくりちゃんとコラボし、缶にお茶を入れて販売中。

期間：2012年6月～(継続中)

おかし工房　木村屋

被災し、仮設店舗で再開したお菓子屋。まつぼっくりちゃんのどら焼きを販売予定。

期間：未定

SAVE TAKATA

震災後、陸前高田市出身者が中心となって設立された団体。SAVE TAKATAさまの依頼により、まつぼっくりちゃんのイラストを提供。

期間：2012年8月

陸前高田社会福祉法人愛育会 作業所「きらり」

被災した社会福祉法人さま。販売する梅干のネーミングやラベルデザインを行いました。

期間：2012年9月

石川水道工業

被災し、仮設店舗で再開した石川水道工業さまのロゴ、名刺をデザインしました。

期間：2012年11月

・・・などなど、今後も少しずつ活動の場を増やしていく予定です。

～寄付、寄贈実績～

24年11月現在

おやこの広場　きらりんきっず

グッズ売上の制作費等を除く全額をきらりんきっずを運営している「気仙子育て支援ネットワークWａｒｌ」へ寄付しました。

総額 34万3954円（7万9820相当のグッズを含む）を寄付・寄贈
<内訳>
★グッズの売上金　計26万4134円
★Tシャツ、スタイ（よだれかけ）、ハンカチ、ステッカー等のグッズ7万9820円相当を寄贈
※23年8月～24年7月現在までの寄付です。

その他、ロゴ、名刺、ホームページ、パンフレット200枚寄贈

りくカフェ

ロゴ・・・・・1点　　名刺デザイン・・・1点
ラベル・・・・1050枚寄贈　　コーヒーラベルデザイン・・・1点

ジャズタイム　ジョニー

似顔絵イラスト・・・1点　　名刺デザイン ・・・・1点
名刺・・・・・・・・・100枚寄贈

石川水道工業

ロゴデザイン・・・1点
名刺デザイン ・・・・1点

陸前高田「うごく七夕まつり」2012

子供たちに「まつぼっくりちゃんの飴」（5個入りカード付）を計50袋プレゼントしました。

陸前高田社会福祉法人愛育会作業所「きらり」

商品ラベル・・・3点

独立行政法人 防災科学技術研究所 自然災害情報室

アニメーション「ありがとう りくぜんたかた」のDVDを寄贈

全国（主に陸前高田市内）

全国各地にてアニメーションDVDを無料配布中。
これまでに600枚程度無料配布いたしました。

～メディア～

NHK

2012年3月11日NHK総合震災特別番組「明日へ一支えあおう」にてアニメーションと取材内容が放送されました。

Yahoo! JAPAN (ヤフージャパン)

23年12月16日YAHOO！JAPAN映像トピックスで「陸前高田からの感謝が込められたアニメ」として取り上げられました。

～長い時間をかけて ～

アニメ「ありがとうりくぜんたかた」　http://matsu-bokkuri-chan.com/animation/

奇跡の一本松を前に陸前高田市「再生」に向け、歩き出す決意をする「まつぼっくりちゃん」。
小さな一歩が、やがて大きなチカラになると信じて。

８カ国語（英・韓・中・独・仏・伊・西・露）の字幕をつけたYouTubeのアニメには、世界中からアクセスがあります。
2011年10月31日～2012年10月31日までの約1年で「22,369アクセス」、「高評価 132件、低評価 0件」になりました。
さらに、YouTubeやFacebook、ブログなどで多数のコメントをいただきました。（以下一部抜粋）

「1分半、感動・感涙・優しさ・・・いただきました。」「まつぼっくりちゃん、頑張ろうね。一緒に。」
「風化させてはいけない。再び立ち上がるために・・・微力な私の力でも、お役に立てられるようになりたい。そう再認識させてもらいました。」
「Thank you! I taught in Rikuzentakata for three years from 2005 until 2008. I love this city and this beach. That beach was so special...」
など多数。

今は、このキャラクター「まつぼっくりちゃん」を見た子供たちが、ただかわいい！とだけ思っていても、
１０～２０年先に、大人になっても覚えていてくれたら、震災の風化防止につながるのではないかという想いがあります。
一過性のもので終わらせるのではなく、長い時間をかけて活動を続けたいと思っています。よろしくお願いいたします。

■プロジェクトメンバー
・陸前高田で暮らす家族・親戚たち
・大内裕史（本職は映像を中心としたアートディレクターです）

■主旨
「ありがとう　りくぜんたかた」は、被災した立場から
「何かできることはないか」と立ち上がったプロジェクトです。

■目的
1. 陸前高田で被災したお店や団体などへデザイン等を通した支援
2. 震災支援への感謝、震災の風化防止活動を末永く継続する

■グッズ
プロジェクトの継続・維持や震災の風化防止活動の一環として
キャラクター「まつぼっくりちゃん」を主としたグッズを販売しております。
グッズの収益はプロジェクトの運営費及び陸前高田の子供たちの為に
活動する方々等に寄付・寄贈となります。

具体的な活動内容は

フェイスブック http://www.facebook.com/arigatou.takata
ホームページ http://matsu-bokkuri-chan.com/

にて随時公開しておりますのでご覧ください。

まつぼっくりちゃんグッズ

ミニタオル

まっ茶入り玄米茶

チカラ飴

ポストカード

マグネットステッカー

アニメ「ありがとう りくぜんたかた」制作ノート
http://matsu-bokkuri-chan.com/animation/

瓦礫の残る高田松原。
夜に佇む、ひとりぼっちのまつぼっくりちゃん。

【作者の意図】
大津波が突然、美しかった海岸や街、人々を飲み込んでいった。
このツライ現実を受け止め切れない。
あまりの突然の出来事に、ただただ呆然としてしまう。
いったい、何が起こったのだろう。
心の中は暗闇みたい。

瓦礫の山とは対照的に、満点の星空が美しく広がっている。

【作者の意図】
人々のツライ現実とは裏腹に、自然は今もただ美しく広がっている。
突然人々の暮らしを奪っていった海も、今は静かに、
変わらずただ美しく広がっている。

星空に流れ星が1つ。
やさしく微笑む星座が光る。

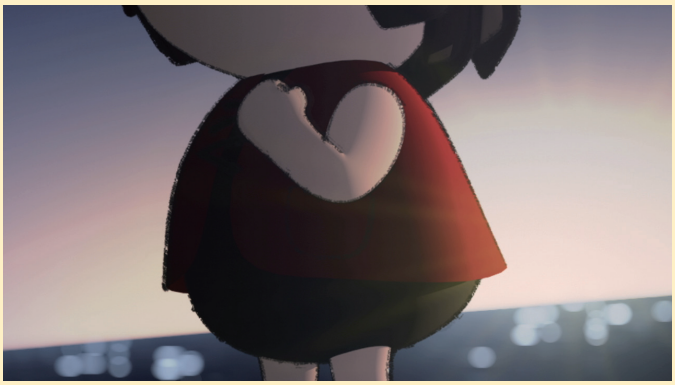
【作者の意図】
優しく微笑む星座は、ツライ現実と向き合う被災者を優しく
見守ってくれる支援者の皆さまと、星になってしまった（亡く
なってしまった）方々を表現しています。

まつぼっくりちゃんが笑顔になる。
「いつも心にありがとう」

【作者の意図】
この大災害で起こったこと全てを現実としてただ受け止めよう。
被災者の気持ちに寄り添ってくれる、日本中、世界中からの
ご支援に「ありがとう」亡くなってしまった方々に「今までありがとう」
「ありがとう」の気持ちを私達は忘れない。いつも心に刻んでおこう。

夜明けが近づいてくる。
一本松を見上げるまつぼっくりちゃん。

【作者の意図】
「ありがとう」という感謝の気持ちが、心の中の暗闇に
うっすらと差し込む光になる。奇跡の一本松を励みに、
残された高田市民や支援者のみんなで街を再生できたら
という前向きな希望が生まれる。



夜明けと、光る海。
まつぼっくりちゃんがこぶしを握り決意する。
「ありがとうをチカラに」

【作者の意図】
みんなの支えがある。悲しみは消えないけど、
残された高田市民が立ち上がって再生を決意。
亡くなってしまった方々の分までしっかり生きよう。

不安を感じながらも、一歩一歩進むまつぼっくりちゃん。
後ろを振り返りつつ、確かめるようにして進む。
やがて進む方向に安心を覚え、どんどん進めるようになる。

【作者の意図】
最初は不安だった一歩も、歩んでいくうちに
きっと成果が出る。無理をしないで小さな一歩でもいいから、
前を向いて歩いて行こう。ゆっくりでも進んでいけばきっと
高田は再生できるはず。
これから続く長い復興への道のりを、時々ちょっと
振り返りながら成果を感じながらゆっくり進んで行こう。

美しい松林と海岸。
再生した陸前高田。
それでも尚、前進していくまつぼっくりちゃん。
まつぼっくりちゃんの小さな足跡が海岸に残る。

【作者の意図】
陸前高田をはじめとする、大震災の被災地全部が再生し、
さらに世界に誇れる未来の街になれたら嬉しい。
まつぼっくりちゃんは、美しい海岸を築き、
さらにもっと前進していく。

東日本大震災風化防止プロジェクト

ありがとう りくぜんたかた ©

まつぼっくりちゃんとの
コラボ募集中！

まつぼっくりちゃん

ありがとう りくぜんたかた応援キャラクター

登録商標第5513126号

http://matsu-bokkuri-chan.com